

「五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり～みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。」使徒 2 ; 1~4 西日本豪雨の災害のニュースが途切れないうちに北海道の震度 7 という地震のもたらす甚大な被害が報道されています。災害、戦争、不法、、、ますます世の終わりの様相が著しくなっています。この様な時にこれから先の事を先取りして教えてくれている聖書を学んでいることは何と心強いことでしょうか。またその聖書が書かれたイスラエルに今年もチームが派遣されようとし、新しい御言葉を頂いて新しい年を迎えようとしています。

イエス、キリストは人類の救済という使命の為に全人類の罪をその身に負われ、十字架にかかって死に、3 日目によみがえることを弟子たちに前もって話されましたが、その通り十字架にかかれ、3 日目によみがえられ、500 人以上の人に現れ天に帰り、聖霊として再び弟子たちに現れました。ここから聖霊時代、教会時代、終末時代が始まります。祈っている人々の中に風のように聖霊が吹き込んで皆が異言を語り、預言の賜物が用いられ多くの人々がしるしと不思議のみわざにあずかり主を信じてクリスチャンになりました。生けるイエス、キリストの証人となり主の為に命を捧げてゆきました。前の雨の聖霊の働き(ペンテコステ)ですが、後の雨による聖霊の働き(リバイバル)がおこると預言されています。(ヨエル 2 ; 23 使徒 2 ; 17~21)20c 始めロスアンジェルスのアズサ街で起こったリバイバルを始めとし、私たちの教会でも 2015 年 5 月 20 日以降その働きを随所に見ていますが、もっと著しい働きが起こってくるでしょう。

多くの人々が病で苦しんでおられますが、癒しを祈ることは非常に大切なことです。神の深いご計画のゆえに、祈ったらすべて癒されるわけではありませんが、十字架を見上げて祈ることによって癒しを体験し神を知り救われる人が多く起こされます。しかしいくら癒されても人はいつか死んでゆきます。大切なのは魂の救い、永遠の命です。聖霊に満たされて神のみわざにあずかってゆきましょう。(カリスマ宣言の 1 章で聖霊の賜物の土台である「聖霊のバプテスマ」について書かれてあります。) 人の限界を超えた神様の働きによって、絶望から希望の人生に代わる方が多く起こされますように!!「神にとって不可能なことは一つもありません。」。カンボジアにチームが行きますが、この孤児院は教会(東京アンテオケ教会)です。教会としての働きがさらに起こってくるように祈りましょう!!

TLCCC 主の十字架クリスチャンセンター

The Lord's Cross Christian Center

FRH 天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト ノア勝裕 & 和子



Siloam 2018 年 9 月 9 日 No.1014



(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

マルコによる福音書 11 : 22~24

イエスは答えて言われた。

「神を信じなさい。まことに、あなたがたに告げます。

だれでも、この山に向かって、

『動いて、海に入れ。』と言って、

心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりに

なると信じるなら、そのとおりになります。

だからあなたがたに言うのです。

祈って求めるものは何でも、

すでに受けたと信じなさい。

そうすれば、そのとおりになります。

♪ God is working for my good , now, for my good , for my good ,

God is working for my good ,Yes,You really are! ♪

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>